

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	基礎数学 / Fundamental Mathematics
◆ クラス / Class	JE
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバスに書いて通り、中間試験 30%、期末試験 30%、課題 40%として行いました。そして、授業参加及び発表によるコロナの影響もあり、教室での授業が行われていないことで、-20%までの減点は行わないことにしました。中間試験、期末試験ともに追加得点問題も提出、授業参加に一定の追加点などをし、できる限り成績に反映しました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

基礎数学は、専門の科目での数学関連内容を理解するため、基礎的な数学の内容を中心とした APM 専門科目であります。ただ公式を覚えて計算だけを行うのではなく、定義と計算方法を理解し、専門科目で応用できることが重要なポイントになります。期末試験には、1 次方程式の計算や 2 方程式の解の意味を理解した上での計算結果の応用、1 次、2 次関数の理解とグラフの作成を中心とした専門での応用問題まで出題し、答えだけではなく、計算過程に重みを置き、採点を行いました。一部の学生は、関数の概念、関数を表す方法としてのグラフの意味、特徴がまだ理解できておらず、1・2 次関数のグラフの作成、グラフの読み方に間違いが多くみられました。そして、需要—供給曲線などの専門の言葉に惑わされず、関数として考えるように数回繰り返して説明したにもかかわらず、関数定義自体を理解していない学生が多く見られました semester でした。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれました。しかし一部の学生は、授業中カメラを消し、何も反応をしない一方で、授業が終わってもログアウトもしないことが毎回ありました。授業への不参加の結果、課題の未提出か出しても出来が悪くなり、オープンブック形式の試験にも関わらず、よくない成績をもらうことになりました。適当にやれば、簡単に単位をもらえるだろうとの必修科目に対する意識の無さがあつたと思います。基礎数学の授業の内容は、高校数学の復習と専門で応用も行うことで、簡単に思う学生と、難しく思う学生との割合の差が毎年広がっています。大学でもう一回勉強しなくてはならないほどの基礎科目、必修科目としての大事さ、そして専門の勉強につなぐためにも重要な科目であることをもう一度認識していただきたいと思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

多くの学生が、基本的な数学の勉強を一生懸命に行い、専門関連の応用問題も理解した上、計算まで出来るようになりました。成績としては、オープンブックの試験だったので、単位取得率は、約 81%でしたが、課題を出さず、中間・期末試験に不参加した学生は、よくない成績になりました。単位習得学生の中、A+割合が一番多く、できる学生とできない学生との格差がみられました。必修科目としての高い単位取得率をもち、「基礎数学の目標値」は達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study).

2017 年度カリキュラムから始まった基礎数学は、必修科目となっています。基礎数学をなぜ大学で必修科目までにして勉強するはじめ、「単位取得だけ」の勉強ではなく、「専門での内容を理解するための勉強である」ことを受け入れて下さい。卒業後、お仕事にも、大学院での勉強にも、ある程度の数学知識は欠かせない能力として試されることとなります。いい成績をもらった学生は、もっと上を目指し、努力し続けて下さい。今回少し良くない成績をもらった学生は、基礎科目なので、失望せず、「何かを学ぶ姿勢」で努力して下さい。そして数学に興味があるが学生は、専門科目にも積極的に受講し、「道具としての数学」がどのように使われているのか(専門での応用)をしっかり学んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

「数学をなぜ使うのか」、「関数とは何か」など定義をまず理解して勉強をすれば、関連専門授業にも十分数学の利用・応用ができると思います。基礎科目なので、適当にすればいいと考える学生と、高校からやらず逃げてきたのになぜ大学でもまたやらなきゃいけないのと後ろ向きに考える学生は、考え直してほしいです。言葉通り、基礎科目は、他の科目を勉強するための定礎になるので、覚えるのではなく、必ず理解するように勉強して下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	基礎数学 / Fundamental Mathematics
◆ クラス / Class	JF
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバスに書いて通り、中間試験 30%、期末試験 30%、課題 40%として行いました。そして、授業参加及び発表によるコロナの影響もあり、教室での授業が行われていないことで、-20%までの減点は行わないことにしました。中間試験、期末試験ともに追加得点問題も提出、授業参加に一定の追加点などをし、できる限り成績に反映しました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

基礎数学は、専門の科目での数学関連内容を理解するため、基礎的な数学の内容を中心とした APM 専門科目であります。ただ公式を覚えて計算だけを行うのではなく、定義と計算方法を理解し、専門科目で応用できることが重要なポイントになります。期末試験には、1 次方程式の計算や 2 方程式の解の意味を理解した上での計算結果の応用、1 次、2 次関数の理解とグラフの作成を中心とした専門での応用問題まで出題し、答えだけではなく、計算過程に重みを置き、採点を行いました。一部の学生は、関数の概念、関数を表す方法としてのグラフの意味、特徴がまだ理解できておらず、1・2 次関数のグラフの作成、グラフの読み方に間違いが多くみられました。そして、需要—供給曲線などの専門の言葉に惑わされず、関数として考えるように数回繰り返して説明したにもかかわらず、関数定義自体を理解していない学生が多く見られました。セメスターでした。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれました。しかし一部の学生は、授業中カメラを消し、何も反応をしない一方で、授業が終わってもログアウトもしないことが毎回ありました。授業への不参加の結果、課題の未提出か出しても出来が悪くなり、オープンブック形式の試験にも関わらず、よくない成績をもらうことになりました。適当にやれば、簡単に単位をもらえるだろうとの必修科目に対する意識の無さがあつたと思います。基礎数学の授業の内容は、高校数学の復習と専門で応用も行うことで、簡単に思う学生と、難しく思う学生との割合の差が毎年広がっています。大学でもう一回勉強しなくてはならないほどの基礎科目、必修科目としての大事さ、そして専門の勉強につなぐためにも重要な科目であることをもう一度認識していただければと思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

多くの学生が、基本的な数学の勉強を一生懸命に行い、専門関連の応用問題も理解した上、計算まで出来るようになりました。成績としては、オープンブックの試験だったので、単位取得率は、約 73%でしたが、課題を出さず、中間・期末試験に不参加した学生は、よくない成績になりました。単位習得学生の中、A+割合が一番多く、できる学生とできない学生との格差がみられました。必修科目としての高い単位取得率をもち、「基礎数学の目標値」は概ね達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study).

2017 年度新しいカリキュラムとして始まった基礎数学は、必修科目となっています。基礎数学をなぜ大学で必修科目までにして勉強するはじめ、「単位取得だけ」の勉強ではなく、「専門での内容を理解するための勉強である」ことを受け入れて下さい。卒業後、お仕事にも、大学院での勉強にも、ある程度の数学知識は欠かせない能力として試されることとなります。いい成績をもらった学生は、もっと上を目指し、努力し続けて下さい。今回少し良くない成績をもらった学生は、基礎科目なので、失望せず、「何かを学ぶ姿勢」で努力して下さい。そして数学に興味があるが学生は、専門科目にも積極的に受講し、「道具としての数学」がどのように使われているのか(専門での応用)をしっかり学んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

「数学をなぜ使うのか」、「関数とは何か」など定義をまず理解して勉強をすれば、関連専門授業にも十分数学の利用・応用ができると思います。基礎科目なので、適当にすればいいと考える学生と、高校からやらず逃げてきたのになぜ大学でもまたやらなきゃいけないのと後ろ向きに考える学生は、考え直してほしいです。言葉通り、基礎科目は、他の科目を勉強するための定礎になるので、覚えるのではなく、必ず理解するように勉強して下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	基礎数学 / Fundamental Mathematics
◆ クラス / Class	J1
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバスに書いて通り、中間試験 30%、期末試験 30%、課題 40%として行いました。そして、授業参加及び発表によるコロナの影響もあり、教室での授業が行われていないことで、-20%までの減点は行わないことにしました。中間試験、期末試験ともに追加得点問題も提出、授業参加に一定の追加点などをし、できる限り成績に反映しました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

基礎数学は、専門の科目での数学関連内容を理解するため、基礎的な数学の内容を中心とした APM 専門科目であります。ただ公式を覚えて計算だけを行うのではなく、定義と計算方法を理解し、専門科目で応用できることが重要なポイントになります。期末試験には、1 次方程式の計算や 2 方程式の解の意味を理解した上での計算結果の応用、1 次、2 次関数の理解とグラフの作成を中心とした専門での応用問題まで出題し、答えだけではなく、計算過程に重みを置き、採点を行いました。一部の学生は、関数の概念、関数を表す方法としてのグラフの意味、特徴がまだ理解できておらず、1・2 次関数のグラフの作成、グラフの読み方に間違いが多くみられました。そして、需要—供給曲線などの専門の言葉に惑わされず、関数として考えるように数回繰り返して説明したにもかかわらず、関数定義自体を理解していない学生が多く見られました semester でした。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれました。しかし一部の学生は、授業中カメラを消し、何も反応をしない一方で、授業が終わってもログアウトもしないことが毎回ありました。授業への不参加の結果、課題の未提出か出しても出来が悪くなり、オープンブック形式の試験にも関わらず、よくない成績をもらうことになりました。適当にやれば、簡単に単位をもらえるだろうとの必修科目に対する意識の無さがあつたと思います。基礎数学の授業の内容は、高校数学の復習と専門で応用も行うことで、簡単に思う学生と、難しく思う学生との割合の差が毎年広がっています。大学でもう一回勉強しなくてはならないほどの基礎科目、必修科目としての大事さ、そして専門の勉強につなぐためにも重要な科目であることをもう一度認識していただければと思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

多くの学生が、基本的な数学の勉強を一生懸命に行い、専門関連の応用問題も理解した上、計算まで出来るようになりました。成績としては、オープンブックの試験だったので、単位取得率は、約 85%でしたが、課題を出さず、勉強しなかった学生は、よくない成績になりました。単位取得学生の中、A+割合が一番多く、できる学生とできない学生との格差がみられました。必修科目としての高い単位取得率をもち、「基礎数学の目標値」は達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study). ◆

2017 年度新しいカリキュラムとして始まった基礎数学は、必修科目となっています。基礎数学をなぜ大学で必修科目までにして勉強するはじめ、「単位取得だけ」の勉強ではなく、「専門での内容を理解するための勉強である」ことを受け入れて下さい。卒業後、お仕事にも、大学院での勉強にも、ある程度の数学知識は欠かせない能力として試されることとなります。いい成績をもらった学生は、もっと上を目指し、努力し続けて下さい。今回少し良くない成績をもらった学生は、基礎科目なので、失望せず、「何かを学ぶ姿勢」で努力して下さい。そして数学に興味があるが学生は、専門科目にも積極的に受講し、「道具としての数学」がどのように使われているのか(専門での応用)をしっかり学んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

「数学をなぜ使うのか」、「関数とは何か」など定義をまず理解して勉強をすれば、関連専門授業にも十分数学の利用・応用ができると思います。基礎科目なので、適当にすればいいと考える学生と、高校からやらず逃げたのになぜ大学でもまたやらなきゃいけないのと後ろ向きに考える学生は、考え直してほしいです。言葉通り、基礎科目は、他の科目を勉強するための定礎になるので、覚えるのではなく、必ず理解するように勉強して下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	統計学 I 統計学 / Statistics I Statistics
◆ クラス / Class	JF
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバス通り、授業のワークシートと課題提出 50%、期末試験 50%として行いました。授業中のワークシートと課題は、白紙ではない限り一定の点数をあげ、できる限り総合点数をあげようとしてきました。そして期末試験には、多めの追加得点問題も出し、課題の未提出などへの挽回の機会を与えました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

経営学を学び、大学院進学及び企業に就職後には、数量データ、定性的なデータを活用することが必要条件となります。データを分析するためには、統計学の基本概念を正確に理解した上で、統計分析の手法を身に付けることが大事となります。これを踏まえて、統計学の期末試験には、統計に関する基本用語の整理を始め、平均、分散、標準偏差、度数分布表、ヒストグラムの作成などの記述統計学の内容、順列、組合せの計算の確率の内容、二項分布、ポアソン分布、正規分布の理解、そして、母平均の推定、仮説検定の推定統計学、統計学の応用として一番使われている回帰分析のエクセル結果の読み取りができることを確認しました。一般的に見られた問題としては、① 統計学の基本定理の不理解 ② エクセルの基本的な使い方がわからない ③ データを利用した計算方法がわからないことでした。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれましたが、一部の学生は、欠席、課題未提出を理由に期末試験までも参加しないこともありました(期末試験不参加率:登録者の約7%)。統計学授業の内容を数学と同じく考え、計算さえすればいいと誤解する学生も、初めて統計学を習った学生の中では、EXCELの使い方であきらめる学生や、勉強もせず、統計学の定理を理解しようとし、内容を難しく思う学生もいました。統計学には、データの扱いに欠かせない、プログラム(パソコンの基本、EXCEL等)の使い方の勉強にももう少しの努力が必要であると思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

統計学を理解するためには、公式の暗記より、基礎的な定理を理解してくれることが、この科目の一番の狙いでした。多くの学生が、毎回授業に参加し、一生懸命に勉強し、専門関連の応用問題にも理解の上、EXCEL計算までしっかり出来ました。期末試験不参加は殆ど2回生以上でした。成績としては、期末試験未参加を除けば、Fの割合が低く、単位取得率約85%であったので、基礎としてのこの科目の目標は、達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study).

統計学も数学同様、公式を覚えて計算するものではなく定義と内容を理解して考え、応用につなげる科目であることを理解し、勉強を進んで下さい。多くの学生が遅刻したり、カメラを消し、授業と関係ないことをしたりすることがよく見られました。ただ難しい、ただやりたくないことを言い訳に勉強を怠ると自分自身の損になることだけではなく、一生懸命にやっている学生にも悪い影響を与えてしまい、授業全般に悪影響を与えることを知覚して下さい。統計学は、必修科目になった理由をもう一回思い出し、もっと積極的に授業に参加し、勉強に励んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

統計学とは、大量のデータ(数値)を利用して分析を行うの、結果も数値として出ることです。つまり数値を入力して一定の方法で分析を行い、結果として、数値を得ることになります。その結果の数値から言葉として読み取るためには、統計学の基本概念や、分析方法を理解するのが必要条件になります。結果数値をどのように読み取り、何が言えるのか(数値を言葉としての表現)を考えるように統計学の理論の勉強、解析の勉強に励んで下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	統計学 I 統計学 / Statistics I Statistics
◆ クラス / Class	JH
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバス通り、授業のワークシートと課題提出 50%、期末試験 50%として行いました。授業中のワークシートと課題は、白紙ではない限り一定の点数をあげ、できる限り総合点数をあげようとしてきました。そして期末試験には、多めの追加得点問題も出し、課題の未提出などへの挽回の機会を与えました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...)

経営学を学び、大学院進学及び企業に就職後には、数量データ、定性的なデータを活用することが必要条件となります。データを分析するためには、統計学の基本概念を正確に理解した上で、統計分析の手法を身に付けることが大事となります。これを踏まえて、統計学の期末試験には、統計に関する基本用語の整理を始め、平均、分散、標準偏差、度数分布表、ヒストグラムの作成などの記述統計学の内容、順列、組合せの計算の確率の内容、二項分布、ポアソン分布、正規分布の理解、そして、母平均の推定、仮説検定の推定統計学、統計学の応用として一番使われている回帰分析のエクセル結果の読み取りができることを確認しました。一般的に見られた問題としては、① 統計学の基本定理の不理解 ② エクセルの基本的な使い方もわからない ③ データを利用した計算方法がわからないことでした。復習により、その基本的な定義の理解ができない限り、統計学の重要な内容の母平均の推定、仮説検定、回帰分析の理解もできなくなってしまいます。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれましたが、一部の学生は、欠席、課題未提出を理由に期末試験までも参加しないこともありましたが(期末試験不参加率:登録者の約 15%)。統計学授業の内容を数学と同じく考え、計算さえすればいいと誤解する学生も、初めて統計学を習った学生の中では、EXCEL の使い方であきらめる学生や、勉強もせず、統計学の定理を理解しようとし、内容を難しく思う学生もいました。統計学には、データの扱いに欠かせない、プログラム(パソコンの基本、EXCEL 等)の使い方の勉強にももう少しの努力が必要であると思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

統計学を理解するためには、公式の暗記より、基礎的な定理を理解してくれることが、この科目の一番の狙いでした。多くの学生が、毎回授業に参加し、一生懸命に勉強し、専門関連の応用問題にも理解の上、EXCEL 計算までしっかり出来ました。受講の約 2/3 が 2 回生以上で、期末試験の不参加者もほとんど 2 回生以上でした。成績としては、統計学 3 クラスの中、平均成績が一番高く、期末試験欠席者の除き、単位取得率約 85%であり、基礎としてのこの科目の目標は、概ね達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study).

統計学も数学同様、公式を覚えて計算するものではなく定義と内容を理解して考え、応用につなげる科目であることを理解し、勉強を進んで下さい。多くの学生が遅刻したり、カメラを消し、授業と関係ないことをしたりすることがよく見られました。ただ難しい、ただやりたくないことを言い訳に勉強を怠ると自分自身の損になることだけではなく、一生懸命にやっている学生にも悪い影響を与えてしまい、授業全般に悪影響を与えることを知覚して下さい。統計学は、2017 年度から必修科目になった理由をもう一回思い出し、もっと積極的に授業に参加し、勉強に励んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

統計学とは、大量のデータ(数値)を利用して分析を行うの、結果も数値として出ることです。つまり数値を入力して一定の方法で分析を行い、結果として、数値を得ることになります。その結果の数値から言葉として読み取るためには、統計学の基本概念や、分析方法を理解するのが必要条件になります。結果数値をどのように読み取り、何が言えるのか(数値を言葉としての表現)を考えるように統計学の理論の勉強、解析の勉強に励んで下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	統計学 I 統計学 / Statistics I Statistics
◆ クラス / Class	J1
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバス通り、授業のワークシートと課題提出 50%、期末試験 50%として行いました。授業中のワークシートと課題は、白紙ではない限り一定の点数をあげ、できる限り総合点数をあげようとしてきました。そして期末試験には、多めの追加得点問題も出し、課題の未提出などへの挽回の機会を与えました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

経営学を学び、大学院進学及び企業に就職後には、数量データ、定性的なデータを活用することが必要条件となります。データを分析するためには、統計学の基本概念を正確に理解した上で、統計分析の手法を身に付けることが大事となります。これを踏まえて、統計学の期末試験には、統計に関する基本用語の整理を始め、平均、分散、標準偏差、度数分布表、ヒストグラムの作成などの記述統計学の内容、順列、組合せの計算の確率の内容、二項分布、ポアソン分布、正規分布の理解、そして、母平均の推定、仮説検定の推定統計学、統計学の応用として一番使われている回帰分析のエクセル結果の読み取りができることを確認しました。一般的に見られた問題としては、① 統計学の基本定理の不理解 ② エクセルの基本的な使い方もわからない ③ データを利用した計算方法がわからないことでした。復習により、その基本的な定義の理解ができない限り、統計学の重要な内容の母平均の推定、仮説検定、回帰分析の理解もできなくなってしまいます。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

受講した学生の多くは、毎回授業に参加し、課題も一生懸命に作成・提出してくれましたが、一部の学生は、欠席、課題未提出を理由に期末試験までも参加しないこともありましたが(期末試験不参加率:登録者の約 15%)。統計学授業の内容を数学と同じく考え、計算さえすればいいと誤解する学生も、初めて統計学を習った学生の中では、EXCEL の使い方であきらめる学生や、勉強もせず、統計学の定理を理解しようとし、内容を難しく思う学生もいました。統計学には、データの扱いに欠かせない、プログラム(パソコンの基本、EXCEL 等)の使い方の勉強にももう少しの努力が必要であると思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives?

統計学を理解するためには、公式の暗記より、基礎的な定理を理解してくれることが、この科目の一番の狙いでした。多くの学生が、毎回授業に参加し、一生懸命に勉強し、専門関連の応用問題にも理解の上、EXCEL 計算までしっかり出来ました。受講生の半数以上が 2 回生以上で、期末試験の不参加者もすべて 2 回生以上でした。成績としては、統計学 3 クラスの中、平均成績が一番低く、期末試験欠席者の除き、単位取得率約 75%であり、基礎としてのこの科目の目標は、概ね達成できたと評価します。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study).

統計学も数学同様、公式を覚えて計算するものではなく定義と内容を理解して考え、応用につながる科目であることを理解し、勉強を進んで下さい。多くの学生が遅刻したり、カメラを消し、授業と関係ないことをしたりすることがよく見られました。ただ難しい、ただやりたくないことを言い訳に勉強を怠ると自分自身の損になることだけではなく、一生懸命にやっている学生にも悪い影響を与えてしまい、授業全般に悪影響を与えることを知覚して下さい。統計学は、2017 年度から必修科目になった理由をもう一回思い出し、もっと積極的に授業に参加し、勉強に励んで下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

統計学とは、大量のデータ(数値)を利用して分析を行うの、結果も数値として出ることです。つまり数値を入力して一定の方法で分析を行い、結果として、数値を得ることになります。その結果の数値から言葉として読み取るためには、統計学の基本概念や、分析方法を理解するのが必要条件になります。結果数値をどのように読み取り、何が言えるのか(数値を言葉としての表現)を考えるように統計学の理論の勉強、解析の勉強に励んで下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	上級数学 / ビジネス数学
◆ クラス / Class	JC
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバスに書いて通り、中間試験 30%、期末試験 30%、課題 40%として行いました。そして中間試験、期末試験ともに追加得点問題も提出するなどをし、できる限り成績に反映しました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

上級数学(ビジネス数学)は、基礎数学の能力を習得した者が、APM 専門関連科目で数学関連内容を、理解する科目です。授業の目標の内容を理解するためには、反復学習(課題を通じての復習)が絶対条件になります。そのため、問題の答えを求めめるのではなく、理解、質問、議論が大事であると説明してきました。期末試験問題も新しいパターンより、授業で説明した内容(基本として必ず理解してほしい)を中心に提出しました。現れた問題としては、①課題を出さない学生が多かったこと(復習しなかったこと)、② 数学という名のついた科目なので、高校までの悪い学習態度—理解するより機械的に解き、答えのみをのめるのが多かったことです。それを踏まえて、評価の基準は、①復習の上、必ず課題を出すこと、②課題や試験問題はちゃんと理解して、計算過程までしっかり書いてあることを中心にしました。すなわち、きちんと課題を出し、試験、課題で計算過程が正しい学生は、必ずいい成績がもらえるように評価しました。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

一生懸命に勉強する学生と、そうではない学生との差が、確実に成績として出てきた semester でした。復習、質問、議論、他の学生の手伝いまで全部行っている学生もいる一方で、課題も一部分出さない学生もいました。その中で、自分の努力の足りなさを感じ、毎回補習(AMC、先生との補習)に参加し、一生懸命に努力した学生もいます。一生懸命にやってくれた学生には、その努力の結果がいい成績として現われたと思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

必修科目でありながら、すでに基礎数学でいい成績を取めた学生とただ専門科目として認めてくれることで入った学生が多かったことで、一生懸命に勉強に励んでくれたいいクラスでした。そのことからこの科目の最終到達としての「全員の単位習得及び内容の理解」の達成には届かなかったものの、全員が一生懸命に励んでくれたと思います。成績面で、単位取得率は、試験不参加を除き、94%であり、A 以上の学生が 6 割以上であることで、この授業の目標中成績面では、達成できたと思います。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study). ◆

授業でも何回か説明したとおり、大学で習うものは、ただ知識だけではなく、基礎を土台にし、その上に授業を通じ、少しずつ自分の知識を上乗せ、専門全般を理解することです。特に数学に関連しては、基礎の大事さによく知っていると思います。これからも、必ず、授業後忘れる前に復習、そして他の人との積極的な交流(質問、説明、議論)をしながら、勉強に励んでください。授業では、すべての学生が理解するようなレベルでの説明になるので自分に合う説明にならない場合もあります。だからこそ復習、質問、議論、先生や出来る学生への相談などを積極的に行ってください。一人で勉強するのは、基礎がわからない場合、かなり時間がかかるので、すぐ諦めてしまいます。先生やできる友達への質問を通じて、必ず出来ると信じ、勉強してください。そして上級数学(ビジネス数学)を理解したら、次にステップ、統計学に関連する専門科目を積極的に受講して下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

「数学の公式を覚えるより、その定義を理解することで、難しい内容でもできるようになりました」とのある学生のお話が忘れられません。その気持ちを忘れずに、これからのすべてのものことにも、公式ではなく、「まず理解する」ことを大事に考え、勉強して下さい。

学部開講 講義科目 成績講評について

Grade Evaluation Comments for Undergraduate Lecture Subjects

◆ 科目 / Subject	上級数学 / ビジネス数学
◆ クラス / Class	JD
◆ 担当者 / Instructor	朴 龍勲
◆ 開講時期 / Period	2020 秋 semester (2Q)

◆ 成績評価方法 / Grade Evaluation Method. ◆

成績評価方法は、シラバスに書いて通り、中間試験 30%、期末試験 30%、課題 40%として行いました。そして中間試験、期末試験ともに追加得点問題も提出するなどをし、できる限り成績に反映しました。

◆ 期末試験・期末レポートについてのコメント(評価のポイント、多く見られた間違いなど)

Comments on your final examination or final report

(Important points for evaluation, common mistakes by students, etc...).

上級数学(ビジネス数学)は、基礎数学の能力を習得した者が、APM 専門関連科目で数学関連内容を、理解する科目です。授業の目標の内容を理解するためには、反復学習(課題を通じての復習)が絶対条件になります。そのため、問題の答えを求めるのではなく、理解、質問、議論が大事であると説明してきました。期末試験問題も新しいパターンより、授業で説明した内容(基本として必ず理解してほしい)を中心に提出しました。現れた問題としては、①課題を出さない学生が多かったこと(復習しなかったこと)、② 数学という名のついた科目なので、高校までの悪い学習態度—理解するより機械的に解き、答えのみものめるのが多かったことです。それを踏まえて、評価の基準は、①復習の上、必ず課題を出すこと、②課題や試験問題はちゃんと理解して、計算過程までしっかり書いてあることを中心にしました。すなわち、きちんと課題を出し、試験、課題で計算過程が正しい学生は、必ずいい成績がもらえるように評価しました。

◆ 受講者全体の学修姿勢 / Overall students' learning attitudes. ◆

一生懸命に勉強する学生と、そうではない学生との差が、確実に成績として出てきた semester でした。復習、質問、議論、他の学生の手伝いまで全部行っている学生もいる一方で、課題も一部分出さない学生もいました。その中で、自分の努力の足りなさを感じ、毎回補習(AMC、先生との補習)に参加し、一生懸命に努力した学生もいます。一生懸命にやってくれた学生には、その努力の結果がいい成績として現われたと思います。

◆ 科目の到達目標についての達成状況

To what degree have your students achieved your course objectives? ◆

必修科目でありながら、すでに基礎数学でいい成績を取った学生とただ専門科目として認めてくれることで入った学生が多かったことで、一生懸命に勉強に励んでくれたいいクラスでした。そのことからこの科目の最終到達としての「全員の単位習得及び内容の理解」の達成には届かなかったものの、全員が一生懸命に励んでくれたと思います。成績面で、単位取得率は、試験不参加を除き、95%であり、A 以上の学生が 5 割以上であることで、この授業の目標中成績面では、達成できたと思います。

◆ 受講者へのメッセージ(今後の学修のアドバイスなど)

Message to your students (Advice for their future study). ◆

授業でも何回か説明したとおり、大学で習うものは、ただ知識だけではなく、基礎を土台にし、その上に授業を通じ、少しずつ自分の知識を上乗せ、専門全般を理解することです。特に数学に関連しては、基礎の大事さによく知っていると思います。これからも、必ず、授業後忘れる前に復習、そして他の人との積極的な交流(質問、説明、議論)をしながら、勉強に励んでください。授業では、すべての学生が理解するようなレベルでの説明になるので自分に合う説明にならない場合もあります。だからこそ復習、質問、議論、先生や出来る学生への相談などを積極的に行ってください。一人で勉強するのは、基礎がわからない場合、かなり時間がかかるので、すぐ諦めてしまいます。先生やできる友達への質問を通じて、必ず出来ると信じ、勉強してください。そして上級数学(ビジネス数学)を理解したら、次にステップ、統計学に関連する専門科目を積極的に受講して下さい。

◆ その他自由記述欄 / Other remarks. ◆

「数学の公式を覚えるより、その定義を理解することで、難しい内容でもできるようになりました」とのある学生のお話が忘れられません。その気持ちを忘れずに、これからのすべてのものことにも、公式ではなく、「まず理解する」ことを大事に考え、勉強して下さい。